

With 小曾根真
ピアノ

魅惑の名曲で綴るアメリカ・プログラム

東京交響楽団



Gen Ota

Makoto Ozone

©Kazuyoshi Shimomura (AGENCE HRATA)



指揮 太田弦

©N.Ikegami / TSO

Tokyo Symphony Orchestra

2023年

11/26

15:00開演
(14:00開場)
[日]

水戸市民会館 グロービスホール

全席指定

S席:6,000円 A席:5,000円 B席:3,000円

水戸市民会館友の会:5,000円

友の会先行発売日 7/2(日)13:00~ 一般発売日 7/8(土)13:00~

バーンスタイン

「キャンディード」序曲

バーンスタイン(メーソン編)

「ウエスト・サイド・ストーリー」セレクション

ガーシュウィン

ラプソディ・イン・ブルー(ピアノソロ 小曾根真)

ロジャース&ハマースタインII(ベネット編)

サウンド・オブ・ミュージック

ガーシュウィン(ベネット編)

「ポーギーとベス」交響的絵画

【注意事項】※未就学児のご入場はご遠慮ください。※車椅子のお客様、介助犬同伴のお客様はお座席へのスムーズなご案内のため予約時にお知らせください。※開演時間を過ぎてのご入場は制限させていただきます。※友の会会員先行によって、一般販売日の前に完売になる場合がございます。※チケットの譲渡、および転売は禁止とさせていただきます。※公演中止の場合を除き、購入後のチケットの払い戻し、交換などはお受けできません。



小曾根 真 Makoto Ozone

Profile プロフィール

1983年パークリー音大ジャズ作・編曲科を首席で卒業。同年米CBSと日本人初のレコード専属契約を結び、アルバム「OZONE」で全世界デビュー。

以来、ソロ・ライブをはじめチック・コリア、ヘイリー・バートン、ブランフォード・マルサリス、パキート・デリベラなど世界的なトッププレイヤーとの共演や、自身のビッグ・バンド「No Name Horses」を率いてのツアーなど、ジャズの最前線で活躍。

©Kazuyoshi Shimomura (AGENCE HIRATA)



東京交響楽団 Tokyo Symphony Orchestra

©N.Ikegami / TSO

Profile プロフィール

1946年東宝交響楽団として創立。文部大臣賞をはじめとした日本の主要な音楽賞の殆どを受賞。川崎市、新潟市と提携し、コンサートやアウトリーチを積極的に展開する他「こども定期演奏会」等の教育プログラムも注目されている。新国立劇場のレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。ウィーン楽友協会をはじめ海外公演も数多く行う。ITへの取り組みも音楽界をリードしており、2020年ニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴、2022年12月には史上最多45カメラによる《第九》公演を配信し注目を集めた。

音楽監督ジョナサン・ノットとともに日本のオーケストラ界を牽引する存在として高く評価されており、《サロメ(演奏会形式)》は音楽の友誌「コンサート・ベストテン2022」で日本のオーケストラとして最高位に選出された。



©Takafumi Ueno

太田 弦 Gen Ota

Profile プロフィール

1994年北海道札幌市に生まれる。幼少の頃より、チェロ、ピアノを学ぶ。

東京芸術大学音楽学部指揮科を首席で卒業。学内にて安宅賞、同声会賞、若杉弘メモリアル基金賞を受賞。同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程を卒業。

2015年、第17回東京国際音楽コンクール(指揮)で2位ならびに聴衆賞を受賞。指揮を尾高忠明、高関健の両氏、作曲を二橋潤一氏に師事。山田和樹、パーヴォ・ヤルヴィなどの各氏のレッスンを受講する。これまでに読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団などを指揮、今後さらなる活躍が期待される若手指揮者筆頭。2019年4月から2022年3月まで大阪交響楽団正指揮者を務める。2023年4月より仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者に就任。2024年4月より九州交響楽団首席指揮者に就任予定。

2021年2月、オクタヴィア・レコードより交響曲 第8(9)番 ハ長調 D944「ザ・グレイト」(新日本フィルハーモニー交響楽団公演ライブ収録)をリリース、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言明けに行われた公演の緊張感の中、太田のエネルギー溢れる「グレイト」が聴衆の話題をさらった。



水戸市民会館
MITO CITY CIVIC CENTER